

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		商店街（代表者）	・天気さえ良ければ、人は街にやって来る。これからは、イベントを多く仕込んでいるので、天候の良さとタイミングがうまく合えば、今の緩やかな回復基調に乗って良くなる。
		一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）	・外商系などは相当淘汰されてきている。倒産、廃業、資金ショートをしたところの客が当店に来てくれるので、淘汰が進むと当店の景気は多少良くなる。
		家電量販店（営業統括）	・消費に対してもネガティブな状況から幾分改善が見られる。雇用情勢が一段と厳しいなか、慎重に値踏みをする顧客が多くなっている。販売価格の調査、セールの実施タイミングなど、施策に対する機敏な反応が販売店に求められるのは言うまでも無い。
		乗用車販売店（販売担当）	・補助金のお陰で今月の受注は順調である。この好調さはまだしばらく続く。
		乗用車販売店（販売担当）	・トラックの主要荷主は鉄、自動車、建築関連であるが、車の受注も徐々に出てきて、鉄においても、消した高炉を再度使うような話が出てきているので、景気は若干良くなる。助成金のお陰でトラック需要は随分改善したが、前年と比べるとまだまだである。
		その他小売〔ゲーム〕 （統括）	・ゲームの展示会で一番大規模な東京ゲームショウが10月に開催される。この展示会に出展された物は年末、年始に市場に投入される予定の物が多く、市場も活性化する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・他社と差別化を図ることで婚礼成約率が伸びている。
		旅行代理店（従業員）	・春に中止になった旅行を秋に行く客が増加している。
		旅行代理店（営業担当）	・売れ筋商品の展開でやや良くなる。
		タクシー運転手	・今年10月に新しいタクシー事業適正化・活性化特別措置法が施行されるので、需要と供給のアンバランスの均衡がとれれば、多少は良くなる。
		通信会社（経営者）	・不景気が続き、皆不景気慣れしてきている。小金は持っているので、そろそろ使い出す。
		通信会社（営業推進担当）	・総選挙後にどう変わるか不明であるが、ここにきてマンション販売がやや上昇傾向に転じていることから、年末に向けては上向くと見込んでいる。
		通信会社（企画担当）	・テレビのデジタル化が浸透し、やや良くなる。
		ゴルフ練習場（従業員）	・若手選手の活躍で若い人の参入が増えてきていることと、シニア層の定期的な練習が多く、今後も若干良くなりそうである。
		ゴルフ場（支配人）	・秋口の予約状況は、ある程度例年どおり埋まってきている。
		その他レジャー施設 （経営企画担当）	・プロ野球シーズンがクライマックスを迎えるため、客からのニーズも一定の盛り上がりがあると思われる。しかし、ホテル宿泊等の波及効果がどの程度改善するか楽観的な予想はできない。
		その他サービス〔語学 学校〕（総務担当）	・個人の受講者数が増えてきており、ホームページの利用率も上がってきている。
		住宅販売会社（従業員）	・暑い時期は季節要因として住宅、不動産は動きが悪くなるが、金利上昇前に無理のない返済で購入できる物件の購入が進む。最近家賃がもったいないという客が非常に増えており、実際に家賃並みで購入できる物件が増えている。販売の単価は下がるが、底堅い需要があり、景気はやや良くなる。
		住宅販売会社（従業員）	・現状が底であるため、やや良くなる。
変わらない	変わらない	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・エコポイントに多少期待しているが、その他は今来ている法人向けの設備投資等の仕事があればということで、総じて変わらない。
		一般小売店〔祭用品〕 （経営者）	・不況の影響で企業等の寄付が集まらないため、行事の縮小傾向が見受けられる。全体の底上げがない限り飛躍的に良くなるはない。
		一般小売店〔衣料・雑貨〕 （経営者）	・衣料品の販売を取り巻く環境は大変厳しく、夏のボーナスも減額のように、このままだと秋の商戦も厳しい状況が続くそうである。
		百貨店（売場主任）	・景気が上向ききかけがないまま、アパレルを中心とした消費の低迷は秋以降も続く。

百貨店（売場主任）	・今月の秋物商品の動きの鈍さから、秋物商戦は厳しいものと想定される。当面、第一の関心は価格であり、客単価の低下は続く。
百貨店（総務担当）	・売上状況、来客数等を見ても、なかなか明るい兆しが見えず、期待材料も見出せない。
百貨店（広報担当）	・5月までは入店客数マイナス5%、売上マイナス10～15%で推移していたが、6～7月は入店客数が2けた減で推移している。昨年6月に地下鉄新線が開通した反動も大きい。1人当たりの買上単価を上げる施策、つまり店内をゆっくり買い回りしてもらえるサービス施策を拡充している。
百貨店（広報担当）	・8月は、高速道路料金引下げの実施日も増え、夏休み中は地方への脱出者が増加しそうである。その結果、入店客数の減少、手土産及びレジャー需要以外の需要の落ち込みが予想される。
百貨店（営業担当）	・今月の売上も2けた減であり、浮上の兆しが見えない。このような状況なので価格を抑える傾向が強くなり、たとえ枚数が売れても単価は大きく落とす結果になり、減少傾向は避けられない状況である。
百貨店（営業担当）	・低迷を続けていた婦人服、服飾雑貨関連もやや持ち直してきた感があり、日経平均株価も1万円台まで回復してきたことなどから、景気は下げ止まりだと考えている。しかし、美術宝飾関連の高額商品の動きはいまだに良くないので、当分の間現況が続く。
百貨店（販売促進担当）	・下期の方がギフトニーズや購買機会は増えると思定するが、個人消費は今より守りの体制になる。
百貨店（販売促進担当）	・顧客の消費動向は賢さを増すばかりであり、それに対応できなければ商売に勝ち目はない。より一層きめ細かい顧客ニーズの分析と、具現化が急務である。
百貨店（販売促進担当）	・景気が良くなるような要因が見当たらない。
百貨店（業務担当）	・昨年の米大手証券会社破たんの影響で百貨店業界も消費が冷え込み売上が下がってきたのが9～10月ごろである。1年が経過し、前年比でどのような動きになるかということに着目しているが、今の段階では景気が回復し消費が上向きようには見えない。エコポイント制度も特定の商品だけに偏っており、全体の消費を底上げするまでには至っていない。3か月後が大きく変わるようには思えない。
百貨店（店長）	・7月の衣料品販売の苦戦で春夏商戦の厳しさが根深い状況にあることを改めて痛感している。8月以降の秋冬商戦においても、衣料品購入については厳しさが継続する。
百貨店（副店長）	・単価が低下し、来客数は前年並みという傾向は今後も続く。
百貨店（営業企画担当）	・マスコミで景気回復の兆しが報道されることもあるが現場ではまだその兆しは感じられない。
百貨店（販売管理担当）	・7月が非常に悪く、これ以上悪化するとは予測しづらい。ボーナス低下の影響があり、給与水準好転の兆しもないことから、家計の消費支出は依然として厳しい。
スーパー（経営者）	・7月は天候の具合もあるが、客が必要な物以外は買わず、特に厳しくなっている。先行きも良くない状況のまま変わらない。いかに客が納得して買ってくれるような提案やサービスが打ち出せるかということに掛かっている。
スーパー（経営者）	・景気が良くなる雰囲気はないが、これ以上悪くはならない。
スーパー（店長）	・夏のボーナスの支給が前年を割った、または思うようにももらえなかったと客も従業員も言っている。特売品を販売しても、客はそれだけ購入して帰ってしまい、他の物が売れていない状況である。3か月後も客の生活保護意識が高まり、現在とほとんど変わらない数字となる。
スーパー（店長）	・今度の総選挙の結果で多少流れが変わるかもしれないが、根本的に将来の不安が払しょくされない限り、厳しい状況が続く。
スーパー（統括）	・客の買物動向を見ていると、広告商品などは朝から並んでも買うが、それだけでレジに並んで終わりという状況で、トータルでは買上点数、買上金額共に前年に達しない状況である。今後もこの状況は続く。
スーパー（統括）	・景気の見通しが厳しいことから、各個人の生活防衛意識はますます強くなっている。そのなかで消費の低迷は続く。

スーパー（仕入担当）	・ 特売価格を含め、価格が下落傾向にある。買上点数は前年とほぼ同等であるが、単価が下がっている分、売上に影響している。
コンビニ（経営者）	・ 全体的な景気は良くなっているという見方があるが、小売関係はそんなに極端には良くならないので、変わらない。
コンビニ（経営者）	・ 周辺で続いている工事の関係で、一時的にバブルの状態での売上は良い。今後については総選挙や天候など様々な要素があり、工事も最終段階に入っていることから、3か月は何とか現状維持できるが、その先については大変不安である。
コンビニ（店長）	・ 商品の中でも、炭酸飲料や低価格の弁当等の売上は比較的良好だが、全体の売上を押し上げるほどの力にはなっていない。
コンビニ（商品開発担当）	・ 食品関連で個人消費の上向き兆しが見えない。
衣料品専門店（経営者）	・ 8～9月は夏物バーゲンと秋物の立ち上がり時期となるが、7月にバーゲンを前倒しでやってしまい、秋物を先取りで買う人も少ないと思われるため、あまり期待できない。
衣料品専門店（経営者）	・ メーカー、問屋は在庫調整をしており、秋冬物も品薄気味だが、売上予想が控えめのため先行きは不安である。
衣料品専門店（店長）	・ 失業や給与の減少で消費に回す余裕が無いのは相変わらずだが、悲壮感は少し薄れてきた感じがある。ただし状況が改善したとは言えない状況なのでしばらくは現状が続く。
家電量販店（経営者）	・ 厳しい足元の状況がしばらく続くと思われるが、景気の底打ちから緩やかに回復に向かうにつれ、特に昨年減速の始まった10月ごろからは期待できるのではないかと見ている。
家電量販店（店長）	・ ついで買い等も少なく、販売店が閉店している状況なので厳しい。
家電量販店（店員）	・ 現在の厳しい状況のまま変わらなければ、景気自体も悪化する方向に向かう可能性がある。
家電量販店（統括）	・ 天候不順の影響でエアコン、冷蔵庫の売行きが鈍っている。エコポイント3商品でも非常に厳しい。テレビの1品種だけでカバーしていけるものではない。
乗用車販売店（経営者）	・ 車の受注と実際の登録に伴う販売とは時期がずれるが、今受注しているハイブリッド車の登録が始まるという意味で、秋ごろの売上は良い。ただし今後、ハイブリッド車の動きが終わってしまうとどうなるのかは不明である。
乗用車販売店（経営者）	・ 整備は順調に入っているが、販売が前年同月の3割減ということで芳しくない。ハイブリッド車があるメーカーは順調なようだが、当店で販売しているのは他のメーカーの車である。勝ち組負け組が出ている。
乗用車販売店（営業担当）	・ 補助金制度やエコカー減税はあるがすべての車種ではなかったり、具体的な予算が明確でないので、知らない客も多く、今から買おうという客が二の足を踏んでいる。
乗用車販売店（渉外担当）	・ 好調のハイブリッド車も納品に半年掛かる見通しで需要止まりが懸念される。雇用、賃金減、燃料価格など不安定材料は蓄積されている。また総選挙後の不透明さもあり、需要の盛り上がりには当面期待できず、景気底打ちの実感はない。
乗用車販売店（店長）	・ 工場の生産量は安定してきたが、総選挙の様子見や金利等、非常に不安な材料がある。
乗用車販売店（総務担当）	・ 悪いながらも、このまま推移していく。その中で企業としても、営業費の削減、人件費の削減、仕事の見直し等、内部改革をしていかなければならない。消費の回復を祈るばかりである。
住関連専門店（統括）	・ 景気回復の兆しがいまだに見えない。今のままの状態がまだまだ続く。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・ 天候不順が続くようだと季節品不振の穴を埋めることを考えなければならない。また、医薬品の数字を戻すために、更にしっかりと薬事法の対策を立てる必要がある。新型インフルエンザが増えてきているので、冬に向かって今から対策を立てる必要がある。いずれにしても、対策をどんどん立てなければ悪くなる。
その他専門店〔雑貨〕（従業員）	・ 回復する兆しも、きっかけも無い。
その他専門店〔服飾雑貨〕（統括）	・ 特に購買モチベーション向上につながる策もなく、しばらく低迷期が続く。今冬の賞与額の増減が今後を左右する。
高級レストラン（支配人）	・ 前年同時期と比べ、3か月先の大型会合の受注状況が下回っている。

一般レストラン（経営者）	・産直や大手の直接仕入れなどの流通の変化で、既存の市場の店舗や品数自体が減り、小規模店としては仕入れに苦労している。
一般レストラン（店長）	・2～3か月先に来客数が伸びるという感触は全くないの で、大変厳しい。
一般レストラン（スタッフ）	・宣伝効果と良い物を提供しているということで、一応は前年を維持してきている。正直に安心、安全なものを出していれば、そんなに売上は上がらないが、落ちもしない。
都市型ホテル（スタッフ）	・前年から実際に予約が入る傾向が強まっているが、予約率は2割ほど弱く、利用回復はまだ先になる模様である。レストランの個人利用は記念日やお祝いで家族利用が目立っており、平日ランチタイムの女性客の利用も回復している。法人の宴会予約客数は前年に比べ5%程度弱い。今後、料金交渉で値下げ圧力が強まるものと思われ、人数減以上のダメージを受けそうである。
タクシー運転手	・タクシーの利用客は底打ち感があるが、今後はこれ以上の減少はなくなる。利用客の流れを読むタクシーの乗務員は、それなりの売上が作れる。
タクシー（団体役員）	・今までの客の動きから考えると、今が一番、当業界では悪い時である。景気も上向いておらず、ここ2～3か月の状態が今後もしばらく続く。
タクシー（団体役員）	・新しいタクシー事業適正化・活性化特別措置法が施行されるが、今の景気状況と業界の供給過剰状態が解消されない限り、変わらない。
通信会社（営業担当）	・顧客の中には買い控えをしている者も多い。
通信会社（営業担当）	・3か月前と比べれば良くなってはいるものの、前年同月比では契約数は減少しており、今後数か月は現状の契約数を維持していくようなので、変わらない。
通信会社（管理担当）	・月次単位で傾向が変化するため、中期的予想は難しくなっている。しかしながら、昨年後半のような、明らかな下落傾向はなくなってきている。
通信会社（営業担当）	・テレビはデジタル放送への変更に伴う解約が今年度中見込まれており、それを織込みながらの苦しい進捗になる。また他社攻勢も引き続き展開されており、インターネット、電話も、引き続き厳しい販売状況になっている。
通信会社（営業担当）	・先行きに不透明感があり、大きく上向く動きが見られない。
通信会社（総務担当）	・各企業とも夏のボーナスは頭打ちであることや、総選挙の結果を見定めるといった雰囲気もあり、まだ活発な動きが出てきそうもない。
パチンコ店（経営者）	・それほど大きな動きはない。機械、その他のほうも平均的に出るし、総合して落ち込みもアップもない。
その他レジャー施設 [球場]（支配人）	・施設予約状況や宴会予約状況など、特に目立った動きが見えない。
その他レジャー施設 [ホール]（支配人）	・一部の業種で好調な売上を示しているが、買い控えもあっておおむね伸び悩み、消費は減退しており、しばらくはこの状況に変化は起きない。この数か月、音楽業界も同じような傾向にあり、厳しい状態は変わらない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] （店長）	・当店の客が働く企業で苦戦が続いている話をよく聞く。まだ余暇に使う資金を抑える傾向は続く。
設計事務所（所長）	・何か根本的なものが変わらない限り、景気は良くなる ない。また、制度融資にしても、その方法論及び審査も、景気を上向きにするためには根本的な方法を変えない限り、良 くはない。
設計事務所（所長）	・今の状況だとこれから先もおそらく変わらず、急激に良 くなるとは思えない。
設計事務所（職員）	・補正予算による医療施設耐震化臨時特例交付金を受ける前 提の案件が急激に増加し始めているが、一時的なものと考え ているため、変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・相変わらずユーザーは慎重で、なかなか決断してくれな い。住宅用地の土地も流通が悪く、あまり動いていない状況 である。この厳しい状況はまだ当分続く。
やや悪くなる	一般小売店 [茶]（営業担当） ・同業者が今までにない安値で取引を始めた り、客を取った取られたとお互いの首を絞め合 ういたちごっこのような状況になっ ている。結果的には利益薄で商売あが ったりとなるので、今後の景気に大 きな不安がよぎっている。

百貨店（総務担当）	・経済全体が少しも良くなっておらず、企業統合や、決算で非常に悪い結果が出ているなかで、今後の失業率はまだ当分、改善の見通しが立っていない。このような状況では当面良くなることは有り得ず、まだ底を打ったとは言えない。	
百貨店（営業担当）	・米大手証券会社破たんの影響は昨年10月ごろから兆候が現れたが、予想以上に消費の冷え込みは厳しく、縮小均衡になっているようである。もともと小売業については景気の波が遅れる傾向はあるが、今回については物が飽和状態な状況に加え、環境問題のクローズアップにより、商品そのものの動きが悪い。また、他社が価格を抑えた商品展開をしているため、売上を大きく伸ばせるとは考えにくい。	
スーパー（統括）	・オープン景気が半年も1年も持続するような状況ではない。2～3か月後は落ち着き、現状維持ないしは、やや落ちると見ている。	
スーパー（仕入担当）	・夏休みの旅行等の予算も減少傾向にある等、ますます消費の自己防衛意識が高まっている。	
コンビニ（経営者）	・このまま1年、タスポ効果の影響を引きずることになる。	
コンビニ（エリア担当）	・来客数のみならず、単価の低下傾向も続いており、特に好転する理由もない。上期の決算に向け、競争店出店及び異業種間競争は今後更に厳しくなる。	
コンビニ（商品開発担当）	・今後はさらに安くて良い物が求められ、それが企業の利益を圧迫して景気は後退する。	
衣料品専門店（営業担当）	・8月は夏物の処分と秋の立ち上がりだが、必要なものだけを買うこの時代、無駄遣いはしないため、売上は今より落ちる。秋の立ち上がりも天候次第である。	
家電量販店（副店長）	・総選挙後の政府の政策がどうなるのか不透明なことと、年末前での客の買い控えが増えるのではないかと不安もある。	
乗用車販売店（経営者）	・助成金の終了が近付くにつれて客の購買意欲が無くなっていくことは目に見えている。	
都市型ホテル（支配人）	・先々の動きも鈍く、単価も低減している。	
旅行代理店（従業員）	・10月からの燃油サーチャージの上昇や秋口からの新型インフルエンザの再流行の懸念等、マイナス要因が多く、強力なプラス要因が見当たらない。	
通信会社（営業担当）	・4月からの獲得数が目標に達せず、新規エリアのオープンも先延ばしになる見通しである。	
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・夏期講習の参加生徒数は昨年比2割増しだが、秋以降は全く増えるという予想は立たない。	
住宅販売会社（従業員）	・秋の商戦ということもあり、販売量は良くなると思うが、ただ今月が良すぎたため、今月と比較するとやや落ちる。	
悪くなる	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・6月、7月と前年をかなり下回っている。現状を考えると2～3か月先良くなると思えない。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・消費者の所得が増えなければ良くならない。
	コンビニ（経営者）	・商品の販売単価が下がり、利益も減少、同業他社との競争も再び過熱し、今後の展開は更に不透明になってきている。
	衣料品専門店（経営者）	・最近当地域で祭りがあったが、どうしても単価の安い物や昨年の物を使うというような傾向で、消費の低迷が続いている。先行きも厳しい。
	衣料品専門店（経営者）	・本来7月より悪い8月を考えると不安である。天候にも左右されるので、仕入を含め不安要素が多く、晩夏初秋物の動きが懸念される。
	一般レストラン（経営者）	・このところ毎月売上が前年比で10～15%落ちている。2～3か月先も同様に落ちて悪くなる。
	旅行代理店（従業員）	・電話が鳴らず、先々の問い合わせが昨年同週比で70%台と減っている。
	タクシー運転手	・この先も今のままでは非常に厳しい状況が依然として続く。また、街などでも10時を過ぎると閑散としており、非常に客の少ない状況が依然として続く。当業界としては車両台数、稼働率が上がってきており、これも1つの大きな状況になってきている。
	美容室（経営者）	・商店街全体が、売上がどんどん落ちていき、先の見通しが全くよく分らない。
	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・商店の廃業等により大型店に消費が集中し、消費者の選択の幅が縮小していく。かつ、高齢者の消費が減少する。
	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・周り中で買物を控える人が増え、新築予定のビル建設もほとんどが延期になり、景気が良くなる要素が1つもない。

		設計事務所（所長）	・新築物件の依頼が非常に激減している。耐震補強、診断等があるが、この辺も入札等で非常に低価格競争となり、非常に深刻である。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（経営者）	・今が一番悪い時期なので、多少は回復していく。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・法人もやや上向いているが、それよりも個人の印鑑注文の需要が少し上向いている。納期があってもどうしても急ぎで作るといふより、ファミリーへのプレゼントという部分がある。皆、少し余裕ができてきており、若干良くなっていく。
		金属製品製造業（経営者）	・在庫が無くなり、その分の発注が来る。ただし、内需拡大がなければ一時的なものになる。海外向けについても、ノックダウン生産はいずれ現地調達に変わるので、内需拡大が必要である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・大手企業との取引の準備を進めてきたので、これから取引が始まるのではないかと期待している。また、冬場に向かって毎年冬物商品の販売が増える。昨年の冬は結構販売できて評判も良かったので、今年は更に売れるのではないかと。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・景気刺激策の効果と景気回復ムードから少しずつ落ち着き、客足が戻って来た様子である。また、年末にかけて厳しくなる可能性も残りつつ、ひとまずは回復に向かう。
		建設業（営業担当）	・建設業の工事費が底入れしており、また建設事業の需要が少ないため、建設業者は低価格にて受注する傾向がある。それらを理由に企業が投資事業を再開している。これから少しずつではあるが景気が回復する。
		税理士	・目に見えての上向きではないものの、消費に回す金額が増えている感触があるため、やや良くなる。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・8月以降になれば公共事業が増える見込みである。また、パチンコ店の新規開店があり、増員される見込みである。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・受注量が増えそうである。
変わらない		出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・休眠客の再訪問を始めてはいるが、例年並みの売上を維持できるかどうかの受注量にしかならないため、変わらない。経費の削減が多少なりとも響いているようである。
		化学工業（従業員）	・5月を境に6、7月と横ばいの状態が続いており、下落傾向は止まっているように思われるが、先行きが良くなると思われる材料は無いため、変わらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・株価は最近若干上がってきているが、中小企業の受注量は全く増えていないし、将来的にも増える見込みは今のところ見られない。
		金属製品製造業（経営者）	・当社の仕事の多くを占める試作部品は、どの取引先でも相変わらず低調である。当工業団地内の自動車量産部品メーカーの生産は60%ほどに戻ってきたとのことではあるが、他の金属加工などの工場は回復の実感を感じられない。また、見通しも立たない状況と聞いている。
		金属製品製造業（経営者）	・消耗品関係の部品の加工は動き出しており、具体的な見積が多くなりつつあるので、もう少しの辛抱で景気が立ち直る。
		一般機械器具製造業（経営者）	・物の動き、仕事の受注量が現実的に目に見えない状態であり、この状態は変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・昨年と比べると今は20%くらいの売上しかない。これ以上落ちようがないということまで落ちてきているので、底打ちの状態である。ただ、明るい話は全く無く、非常に悪い状態がしばらく続き、年内はだめだと諦めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・業界全体が、売上が平均して30～40%も減っているため、現況から良くなる要素というものがまだ全く芽生えていない。現状の顧客を維持していくために、当分、固定経費の削減を図って事業を継続するような状況である。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・悪いまま変わらない。1週間のうちに1～2日しか仕事が無く、あとは5連休である。全然仕事が進まないで手の打ちようが無い、この2～3か月は良くなれない。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	・不況の中でこういう現在のよう結果ができつつあるということは、その努力の結果である。方向性が見つかったお陰でその結果が出てきているということなので、そう簡単に崩れることはないだろうし、かといって急に特別良くなるということもないため、現状のまましばらくいく。
		建設業（経営者）	・消費が低迷しつつあるので急に良くなるとは思えない。時間が掛かりそうである。

建設業（経理担当）	・個人住宅の建築案件はいくつか出ているが、事業性の案件は少なく、受注にこぎつけられるか不安が続く、受注量は今後まだ減る見込みである。
通信業（広報担当）	・ユーザー層である中小企業の経営環境は、厳しい状況が当面続く。
通信業（総務担当）	・販売量の推移に将来大きな変化を予兆させる動きが感じられない。
金融業（渉外・預金担当）	・資金繰りが計画通り行かず、条件変更の申出もあり、先行き不安感がある。
金融業（審査担当）	・不況対策融資制度が一段落した感があり、新規融資の申込が減少している。また、中小企業の業況は若干回復傾向であるものの、売上の減少は依然として続いている。
金融業（支店長）	・大手自動車会社のハイブリッド車を中心に明るい話があるものの、所詮は一部業者の中での特需でしかなく、下請部品メーカーには今しばらく厳しい状況が続く。受注回復の明るい兆しは見えてこない。
不動産業（従業員）	・銀行等の査定も厳しく、特に中古住宅においては手持資金が足りない場合が多くなってきている。今後もこの状況は続きそうである。
不動産業（総務担当）	・テナントから解約撤回の条件に賃料値下げの話が来たりして、足元を見られている感がする。マンションにしても、特に高価格帯の物件の売行きが悪く、値引きをしないと売れない状況が続いている。
広告代理店（経営者）	・この上半期は広告主が年度予算を極力使わず我慢し続けたので、この秋口から我慢していた分を使い出すと業界関係者から聞いている。しかし、今期は通期予算自体を絞っていること、元来、上半期は予算のボリュームが小さいことから、広告主が我慢していた額自体が大きな額とは考えられない。よって、明確には良否を予想できない。
経営コンサルタント	・顧問先の中堅小売業では、開港150周年に合わせ開業を予定されていた駅前的大型複合ビルに出店を予定していたが、商業スペースが埋まらず、開業時期が来年春以降にずれ込むことになっている。同社も事業スケジュールの変更を迫られ、困惑している。各社の出店の抑制は、不況の長期化を想定している表れである。
経営コンサルタント 税理士	・まだまだ悪いまま推移する。 ・アメリカでの日本の車の売行きが落ちているので、その部分の影響がかなり大きい。ただし、中国の内陸部の開発等があり、中国が良い状態なので、その2つから総合するとどちらとも言えず、変わらない。
社会保険労務士	・良くなるという要因が見当たらない。
その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・秋～年末に向けて不透明感が強く、この低迷状態がしばらく続く。
その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・景気が少し上向きのように言われているが、秋口から新型インフルエンザの流行なども懸念されていて、世の中全体が下方になるのではないかと懸念されている。政治動向にもよるが、急速に良くなるとは思えないので、やはり今の低い状態のまま変わらない。
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・現在のところ状況が変化の様相が見えないため、このまま若干右肩上がりの傾向が継続する。
やや悪くなる	
出版・印刷・同関連産業（所長）	・上期が終わり、下期に向けて目標設定を行っているが、まだまだ先が見えない状況である。本来であれば年末には漠然と売上数字が伸びる予測が立つが、依然不安な状況は変わらず、年内はこの状況が続く。
精密機械器具製造業（経営者）	・オーナー社長は減給等を行い、セーフティネットなども利用して資金運用しているが、来年以降、前年同期比で今のままでは6割程度の業績しか望めない。
輸送業（営業担当）	・以前なら外注に出していたような仕事を、昨今では社内でご納すようになり、当社のような零細業者に荷物が回って来なくなっている。この傾向は強まることはあっても弱まることはない。
金融業（支店長）	・信用金庫の客、中小企業を見ていると、売上が前よりは若干上がってきているが、絶対量的にはまだまだ少ない。返済がかなり厳しくなっており、条件変更等が多くなってきている。また、自己破産等、倒産が若干増えてきているので、このままの状態だと景気はまだまだ落ち込んでいく。
不動産業（経営者）	・事業用賃貸が衰退すると活気が無い。時々会社の帰りに食事処に行くが、このところめっきり客数が減っている。

		<p>その他サービス業〔ビルメンテナンス〕(経営者)</p> <p>・既存契約物件で、8～9月に数か所の契約金額の減額要請が来ている。</p>
悪くなる	<p>食料品製造業(経営者)</p> <p>繊維工業(従業員)</p>	<p>・客は将来の増税を警戒して買物を控えている。</p> <p>・今後、繊維産業で大企業の倒産が起こった場合、さらなる関連組合員企業への影響が危惧されている。また、低価格大手ファッションストアは、中国で大量生産するための編み機を2,000台発注したと聞く。今後も編み機の発注は続き、最終的には1万台に達するとささやかれている。これらから生み出される完成品が大量に日本に流入する見込みであり、さらなるメイドインジャパンの危機である。</p>
	<p>プラスチック製品製造業(経営者)</p>	<p>・来月は従来品の発注が3割以上落ち込む見通しが確実であり、将来的にもあらゆる分野で顧客の海外生産が進み、国内での企画は皆無に等しく、先行きはまったく不透明である。</p>
	<p>その他製造業〔靴〕(デザイン担当)</p>	<p>・良くなる理由が周りを見ても見付からない。</p>
	<p>輸送業(経営者)</p>	<p>・車両の購入価格や燃料価格の上昇で、経費は増加傾向にある。一方、輸送量の減少により収入は減少しており、先行きは厳しい。</p>
	<p>輸送業(経営者)</p>	<p>・原油価格の高騰が非常に懸念される。高騰と言ってもそれほどではないにしても、徐々に取引額が高くなっていくので、そつう面が効いてきて将来的にまた経済不況がやってくるという構図が予想できる。</p>
	<p>輸送業(経営者)</p>	<p>・零細企業の所では、何をもって底を打ったのか分からない。何の良くなる目安があるのか、教えてもらいたいくらいである。</p>
	<p>輸送業(総務担当)</p>	<p>・運送業は、荷主が活発な生産を開始しなければ運ぶ物が無い。今後の見通しも全く分からない。</p>
	<p>雇用関連</p>	<p>良くなる やや良くなる</p>
変わらない	<p>人材派遣会社(営業担当)</p> <p>人材派遣会社(支店長)</p> <p>人材派遣会社(業務担当)</p>	<p>・労働市場の回復は一般景気回復後、数か月経過した後に影響が表れる。</p> <p>・派遣依頼が少なくなったまま、大きな変化が見られない。</p> <p>・企業の景気底打ち感、人員整理効果によるものが多い。たとえ景気が上昇傾向になったとしても企業の対応力が落ちているため、急激に上昇することはない。そのため底打ち感はあるものの上昇には転じず、当面この状況が続く。</p>
	<p>求人情報誌製作会社(編集者)</p>	<p>・次年度採用に関しての企画提案が始まっているものの、予算的に更に絞込みを進める企業が多い。採用数、予算共に見通しが立たない状況ではあるが、前年の動きから比較して様子見企業がほとんどで、もう一段悪化する。</p>
	<p>求人情報誌製作会社(営業担当)</p> <p>求人情報誌製作会社(営業担当)</p>	<p>・一度下がった単価が上向き様子は見られず、新規顧客の取引もそれほど増加する見込みが無い。</p> <p>・各企業の雇用超過の傾向が強く、新規採用に動くよりも雇用調整を進めている状態が続いている。販売、サービス系では、新規出店の企業もあり、新たな採用を計画している傾向があるが、そのような企業はごく少数なため、全体的な雇用環境の改善には至らない。</p>
	<p>求人情報誌製作会社(編集担当)</p> <p>求人情報誌製作会社(広報担当)</p>	<p>・今のところ、良くなるであろう材料が見当たらない。</p> <p>・通期赤字が確定し、いろいろな事業が崩れている。</p>
	<p>職業安定所(職員)</p>	<p>・景気の悪化は下げ止まったと発表されたが、雇用情勢は依然として厳しく、求職者数の増加が続いている。完全失業率が5.2%となり、更に悪化することが懸念される。非正規労働者の雇用調整は一息ついたようだが、一部製造業など増産となっても、人員増員を手控えており、しばらく雇用情勢の悪化は続く。</p>

